

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●朝日杯フューチュリティSはアドマイヤーズムが優勝

12月15日(日)に行われた朝日杯フューチュリティS(GI)ではアドマイヤーズム(牡2歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝、重賞初挑戦でGI初制覇を果たしました。

●池添謙一騎手がJRA通算1万5000回騎乗を達成

12月14日(土)の7回京都市5日・第12レースでロジカルワーズに騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、史上18人目・現役10人目となるJRA通算1万5000回騎乗を達成しました。

●2024ヤングジョッキーズシリーズは鷹見陸騎手が優勝

12月12日(木)に「2024ヤングジョッキーズシリーズ ファイナルラウンド園田」が、12月14日(土)の4回中京5日には「2024ヤングジョッキーズシリーズ ファイナルラウンド中京」が行われ、鷹見陸騎手(大井・鷹見浩厩舎)が園田・第1戦1着、第3戦2着、中京・第1戦7着、第2戦13着で計57ポイントを獲得し、チャンピオンに輝きました。

●室陽一朗騎手と望月洵輝騎手がJRA初勝利をあげる

12月14日(土)の4回中京5日・第8レースとして行われた「2024ヤングジョッキーズシリーズ ファイナルラウンド中京第1戦」ではタガノデュードが1着となり、同馬に騎乗した室陽一朗騎手(浦和・宇野木博徳厩舎)がJRA初騎乗で初勝利をあげました。さらに第10レースの同第2戦ではアイファースキャンが1着となり、同馬に騎乗した望月洵輝騎手(愛知・井上哲厩舎)もJRA初勝利(2戦目)をあげました。

●川田将雅騎手が2024年中京競馬リーディングジョッキーに輝く

12月15日(日)をもって本年の中京競馬が終了し、2024年中京競馬で32勝をあげた川田将雅騎手(栗東・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●3歳馬ミッキーファイトが名古屋大賞典(名古屋)をレコード勝ち

名古屋大賞典(JpnIII、12月19日、名古屋、2000m)は、差のある2番手を進んだ2番人気のミッキーファイト(戸崎圭太騎手、牡3歳、父ドレフォン)が、逃げ粘るノットウルノをゴール前50mで捉えてレパードSに次ぐ重賞制覇。サンマルバトロールが4着に入り、単勝1.8倍の支持を集めたヤマニンウルスは6着とデビュー6戦目で初黒星、3番人気のアウトレンジは7着に敗れています。

●南部駒賞(水沢)は北海道のバリウィール【各地の主要2歳重賞】

南部駒賞(11月17日、水沢、1600m)は、逃げた2番人気の北海道からの遠征馬バリウィール(牡、父フォーウィールドライブ)が後続を3/4馬身差で振り切り、初の重賞制覇を果たしました。ローレル賞(11月12日、川崎、1600m、牝馬)は、中団から追いつけた5番人気のウィルシャイン(父ジャスタウェイ)が残り50mで差し切り、無傷の3連勝を達成。金沢ヤングチャンピオン(11月19日、金沢、1700m)は、2番手から2周目4コーナー手前で逃げ馬を捉えた4番人気のダンナイ(牡、父ミッキーロケット)がそのまま押し切っています。

●ラブタスらが参戦、12月25日の兵庫ゴールドT(園田)

兵庫ゴールドトロフィー(JpnIII、12月25日、園田、1400m)は傑出馬不在の混戦で、60%を背負う一昨年の優勝馬ラブタス、59%の昨年の覇者サンライズホーク、57%の3歳馬エートラックス、57%のアラジンパローズ(兵庫)、58.5%のヘリオス、55%のマックス(大井)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●レモンポップの父レモンドロップキッドが死亡

今年12月のチャンピオンズカップ(GI)を制して有終の美を飾ったレモンポップの父であるレモンドロップキッド(父キングマンボ)が亡くなったことが、繋養先の米国ケンタッキー州のレーンズエンドファームから現地12月13日に発表されました。28歳。レモンドロップキッドは1999年のベルモントS(ダート2400m)、2000年のホイットニーH(ダート1800m)などGIに5勝。00年には米最優秀古牡馬に輝きました。種牡馬としてはレモンポップのほか、アーリントンミリオンなど芝GIに3勝したビーチパトロール、GIケンタッキーオークス優勝のレモンズフォーエヴァーなどを送り出しました。

●G1カルロスペレグリーニ大賞〜インテンスフォーミーが制す

南米の芝2400m路線における最高峰のレースであるG1カルロスペレグリーニ大賞(3歳上、芝2400m)が12月14日にアルゼンチンのサンイシドロ競馬場で行われ、M.バジェ騎手が騎乗したインテンスフォーミー(牡4歳、父フォーティファイ、N.マルティンフェロ厩舎)が中団追走から末脚を伸ばして半クビ差で優勝しました。インテンスフォーミーはこれが重賞4勝目。ここ3戦は6月のG1エストレジャスクラシック大賞2着、9月のG1サンマルティン將軍大賞3着、11月のG1コパデオロ3着とG1で足踏みが続きましたが一番でG1初制覇を果たしました。